

【ご参考資料】

2015年6月19日



ノルウェーは、政策金利を過去最低の1%へ引き下げ

ポイント1 政策金利を過去最低の1%へ引き下げ

2015年6月18日、ノルウェー中央銀行は政策金利である預金金利を0.25%引き下げ、過去最低の1%としました。同中銀は前回5月の会合時に、景気の鈍化から、6月の会合で利下げを行なう可能性があるとの見通しを示していたため、利下げの決定は市場予想通りでした。6月18日の外国為替市場では、ノルウェー・クローネは、対円で前日比2.1%程度、対米ドルで同1.8%程度下落しました。

ポイント2 秋にも再利下げを行なうことを示唆

同中銀は利下げの背景として、失業率の上昇や予想賃金上昇率の低下など、景気が想定よりも悪化したことを指摘しています。

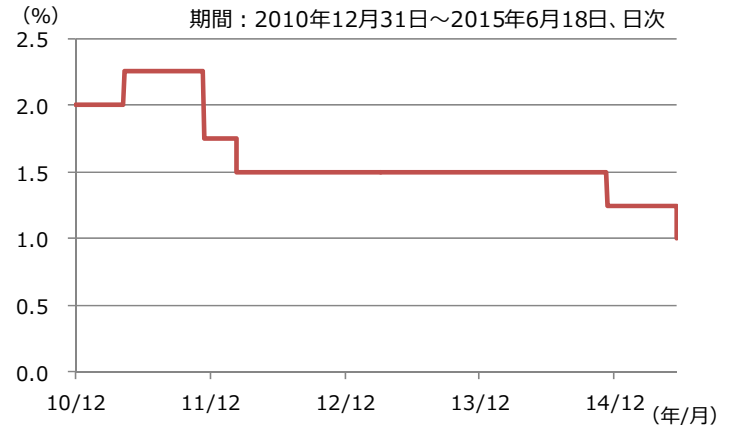
加えて、「国内経済見通しから、秋に政策金利をさらに引き下げる可能性がある」とし、追加利下げの可能性も示唆しました。一方で、「家計部門の債務は継続的に増えている」とも指摘し、利下げが住宅価格の急上昇につながることは警戒感を示しています。

ポイント3 原油価格の動向に注目

ノルウェーの経済の先行きを考える上では、景気弱含みの背景となっている原油価格の動向に注目が必要です。足元の原油価格は、反転の兆しも見えずあり、同中銀は石油関連の投資減少は想定より小さくなる可能性がある」と指摘しています。原油価格が堅調に推移すれば、同国の景況感も上向いていくことが期待されます。

重要イベント
2015年8月20日 GDP(国内総生産、4-6月期)
2015年9月24日 金融政策決定会合

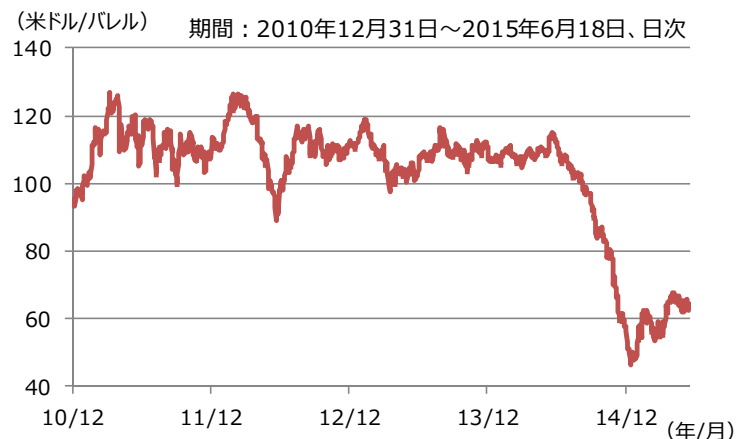
【図1】政策金利の推移



【図2】ノルウェー・クローネの推移



【図3】北海ブレント原油先物価格の推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。